

経済データで見る「最近の世界経済動向(2016年9月~11月)」

\* 青字は悪化指数、%:前年比、CPI:消費者物価、PMI製造業景況指数、2016.11. 17. 現在 日本機械輸出組合

|         | 2016年9月  | 2016年10月  | 2016年11月   | 最近の経済動向  |
|---------|--|---|--|--|
| 世界      | トハイ原油2日 42.2 <sup>ドル</sup> 、9日 45.7 <sup>ドル</sup> 、30日 46.8 <sup>ドル</sup><br>5日 G20: 下振リスクにあらゆる政策  | トハイ原油3日 47.1 <sup>ドル</sup> 、11日 50.3 <sup>ドル</sup> 、31日 45.2 <sup>ドル</sup><br>7日財務相 G20 緩和長期化懸念   | トハイ原油1日 45.4 <sup>ドル</sup> 、9日 42.2 <sup>ドル</sup> 、16日 44.3 <sup>ドル</sup><br>4日地球温暖化パリ協定発効   | ・米国は消費に支えられ堅調。欧州は消費中心に緩い回復持続。日本は停滞気味。中国は 6.7%に減速。インド、フィリピン 7%、インドネシア、ベトナム5%、マレーシア4%、タイ3%台、シンガ2%台、韓とも2%台。ブラジル、ロシアは長期低迷。   |
| 日本      | -財政・金融: 21日、日銀マイナス金利維持、10年物0%誘導<br>-株価1日 16,926、6日 17,081、30日 16,449<br>-雇用: 8月: 失業率 3.1%、0.1ポ 上昇<br>-所得: 8月: 実質賃金 0.6%増7カ月+、現金給与横這い<br>-消費: 8月: 消費支出 4.6%減6カ月-、小売業 2.1%減6カ月-、新車販売 2.9%増4カ月ぶり+、住宅着工 2.5%増2カ月連続+<br>-受注: 8月: 機械受注 4%減、工作機械 8.4%減 13カ月-、産業機械 31.5%減<br>-生産: 8月: 鉱工業 4.5%増 IT、省エネ投資、在庫 1.6%減、自動車 9.6%増3カ月ぶり+、熊本地震減産の挽回<br>-貿易: 8月: 輸出 9.6%減 11カ月-、入 17.2%減<br>-収益: 4-6 月: 経常益: 法人企業 10%減、4-9 月: 営業益: 東芝700億円黒字、最終損: 川重 50億円<br>-投資: 8月: 機械受注民需 2.1%増                                      | -GDP 7-9 月 前期比年率 2.2%3四半期+、住宅投資 2.3%、輸出 2%、消費 0.1%、投資横這<br>-景気: 9月大企業景況感+6前月比横這い<br>-株価3日 16,598、28日 17,446、31日 17,425<br>-雇用: 9月: 失業率 3.0%、0.1ポ 改善<br>-所得: 9月: 実質賃金 0.9%増8カ月+、現金給与 0.2%増<br>-消費: 9月: 消費支出 2.1%減7カ月-、小売 1.9%減、新車販売 3.7%増2カ月+、住宅着工 10.0%増3ヵ月連続+<br>-受注: 9月: 機械 9.3%減、工作機械 6.3%減 14カ月-<br>-生産: 9月: 鉱工業 前月比横這、7-9月: 鉱工業 前期比 1.1%増、4-9月: 車生産 0.8%減、<br>-貿易: 9月: 輸出 6.9%減 12ヶ月-、輸入 16.3%減<br>-収益: 4-9月: 純益: 上場企業 11%減、トヨタ 24.8%減 9461億円、日産 13%減 2824億円、ホンダ 20.5%増 4150億円、三菱自動車 2,195億円赤字、三菱重工 189億円赤字、NEC52%増、パナソニック 8%増 1199億円、ソニー 77.6%減、タイソ 20%増 964億円、コマツ 42.4%減、日本電産 7%増、住友商事 49%減、丸紅 20%減、双日 25%減、営業益: 日立 15%減、<br>-投資: 9月: 機械受注民需電力等除前月比 3.3%減                                      | -株価1日 17,442、9日 16,251、16日 17,862<br>-雇用: 8日ニコン1千人削減<br>-消費: 10月: 新車販売 0.4%減 37.8万台、2カ月-、<br>-受注: 10月: 工作機械 8.9%減 15カ月-、<br>-収益: 4-9月: 経常益: 上場企業 13%減、純益: 東芝3倍 1,150億円、NEC 52%増、営業益: トヨタ 29%減 1兆 1,168億円、三菱電 4%減 1,217億円   | (前々月)・GDP4-6 月は前期比年率 0.7%増でやや増。8月失業率 3.1%でやや悪化、実質所得は7カ月連続増加。車販売 2 カ月連続+、住宅着工2ヵ月連続+。しかし消費支出6カ月連続-、輸出11ヵ月連続-、鉱工業生産熊本地震後増産で+、設備投資やや回復、景気は消費・輸出を中心に停滞気味もやや上向きの動きも。上場企業経常益 4-6 月は 10%減で三四半期-、一部自動車を除き全業種で前年比-。株価は 17000 台を上下。景気回復持続、輸出拡大、財政赤字縮小が課題。円高が懸念材料<br>(前・当月)・GDP7-9月は前期比年率 2.2%増。9月失業率 3.0%でやや改善、実質所得は 8 カ月連続増加。車販売 3 カ月ぶり-、住宅着工 3 ヵ月連続+。消費支出 7 ヵ月連続-、輸出 12 ヵ月連続-、鉱工業生産横這、設備投資も横這い、景気は消費・輸出の低迷で停滞気味。上場企業純利益 4-9 月は 11%減、一部自動車、電機、機械に増益も。株価は直近では上昇傾向。景気回復持続、輸出拡大、財政赤字縮小が課題。円高が懸念材料   |
| アジア・大洋州 | -株価: 上海: 8日 3,095、26日 2,980、30日 3,004<br>-中国: 8月: 社会品小売額 10.6%増、工業生産 6.3%増、新車販売 24.2%増 6ヶ月+、輸出 2.8%減 5ヶ月-、輸入 1.5%増 22ヶ月ぶり+、PMI 50.4、0.5ポ 改善、1-8 月: 固定資産投資 8.1%増<br>-韓国: 8月: 輸出 2.6%増 20ヶ月ぶり+、輸入 0.1%増 23ヶ月ぶり+、新車販売 12.6%減、<br>-台湾: 8月: 輸出 1%増、輸入 0.8%減、海外受注 8.3%増<br>-フィリピン: 8月: 新車販売 40.1%増、<br>-ベトナム: 8月: 新車販売 29.1%増<br>-インドネシア: 23日: 0.25%引下げ年 5%へ、政策金利 6.5%据置、8月: 新車販売 6%増<br>-タイ: 14日: 政策金利 1.5%据置、8月: 新車販売 2.6%増、<br>-マレーシア: 8月: 車販売 2.1%減、<br>-シンガポール: 8月: 新車販売 51.7%増<br>-インド: 8月: 新車販売 7.7%増 | -株価: 上海: 10日 3,048、25日 3,131、31日 3,100<br>-中国: 9月: 輸出 10.0%減 6ヶ月-、輸入 1.9%減、新車販売 26.1%増 256万台、減税駆込、7-9月 GDP 6.7%増、1-9 月: 社会品小売額 10.4%増、固定資産投資 8.2%増、不動産投資 5.8%増、工業生産 6.0%増、横這<br>-韓国: 9月: 輸出 5.9%減、スマホ減、輸入 2.3%減、7-9 月 GDP 前期比年率 2.8%増、建設投資増、営業益: サムスン 30%減 4800億円、現代自 29%減 960億円<br>-台湾: 9月: 輸出 1.8%減 3ヶ月ぶり-、7-9 月 GDP 2.1%増、投資 3.2%、消費 2.4%、営業益: TSMC 36%増 3400億円、ホンハイ 10%増 1400億円、純益: AUO 37%増 150億円<br>-フィリピン: 9月: 新車販売 16.2%増<br>-ベトナム: 9月: 新車販売 24.3%増<br>-インドネシア: 20日: 政策金利 0.25%下げ 4.75%へ、9月: 新車販売 0.1%増、7-9 月 GDP 5.0%増、消費増<br>-タイ: 9月: 新車販売 2.9%増、車生産 1%増3カ月ぶり+<br>-マレーシア: 9月: 車販売 5.7%減、7-9 月: GDP 4.3%増、消費<br>-シンガポール: 9月: 新車販売 51%増<br>-インド: 4日: 政策金利 0.25%引下げ 6.25%へ9月: 新車販売 15.3%増 34万台 | -株価: 上海: 2日 3,102、14日 3,210、16日 3,205<br>-中国: 10月: 輸出 7.3%減 7ヶ月-、輸入 1.4%減、小売 10%増、新車販売 18.7%増 265万台、8カ月+、投資 8.3%増、工業生産 6.1%増、不動産投資 6.6%増、PMI51.2、0.8ポ 上昇、1-9 月: 純益: 上場企業 2%増、7-9 月: 最終益: レノボ 1.6億ドル<br>-韓国: 輸出 3.2%減 輸入 5.4%減<br>-台湾: 10月: 輸出 9.4%増電部品<br>-フィリピン: 10日: 政策金利 3%据置、10月: 新車販売 8.6%増<br>-ベトナム: 10月: 新車販売 26.4%増<br>-インドネシア: 10月: 新車販売 2.3%増<br>-シンガポール: 10月: 新車販売 27.9%増<br>-インド: 10月: 新車販売 5.8%増 34.6万台 | (前々月)・中国 7-9 月 GDP6.7%横這。新車販売減税で9月迄7カ月+、輸出長期低迷。小売売上高は辛うじて二桁、設備投資8%台維持、工業生産6%増、不動産投資5%台で更に減速。景気は緩やかに減速。企業業績マイナスへ。株価は3千台回復。韓国、9月輸出再び一、投資も消費が好調で GDP2%台へ、企業業績は電子もマイナス。台湾、輸出2ヵ月連続+、生産回復傾向で GDP 1 年ぶりプラスへ。直近の ASEAN の GDP、フィリピン 7%台、インドネシア、ベトナム 5%台、マレーシア 4%台、タイ 3%台、シンガ 2%台。インドは生産・投資マイナスも、利下げで車販売中心に消費好調で 7%台成長<br>(前・今月)・中国 7-9 月 GDP6.7%横這。新車販売 10 月迄 8 ヵ月+、輸出長期低迷。小売売上高は辛うじて二桁、設備投資8%台維持、工業生産6%増、不動産投資も6%台。景気は緩やかに減速。企業業績 1-9 月 2%増、株価は 3200 台回復。韓国、輸出2ヵ月-も建設投資・消費増で GDP2%台へ、企業業績は電子・自動車マイナス。台湾、輸出10月プラスへ、生産回復傾向で GDP 2%台回復。企業業績好調。直近の ASEAN の GDP、フィリピン 7%台、インドネシア、ベトナム 5%台、マレーシア 4%台、タイ 3%台、シンガ 2%台。インドは生産・投資マイナスも、利下げで車販売中心に消費好調で 7%台成長 |

|     |  |  |  |   |
|-----|--|--|--|---|
| 北米  | <p><b>財政・金融</b>: 23日 FOMC 金融政策現状維持、利上げ見送り</p> <p><b>景気</b>: 8日 FRB 経済活動、緩やかな拡大</p> <p><b>株価</b>: <u>1日 18,419</u>、<u>14日 18,034</u>、30日 18,308</p> <p><b>雇用</b>: 8月: 失業率 4.9%前月比横這</p> <p><b>所得</b>: 8月: 平均時給 2.4%増</p> <p><b>消費</b>: 8月: 小売売上高 1.9%増、<u>前月比 0.3%減</u>、<u>新車販売 4.1%減3カ月ぶり</u>、住宅着工 0.9%増、<u>前月比 5.8%減</u>、中古住宅 0.8%増、<u>前月比 0.9%減</u>、新築販売 20.6%増</p> <p><b>生産</b>: 8月: <u>鉱工業 1.1%減</u>、<u>前月比 0.4%減</u></p> <p><b>貿易</b>: 8月: 輸出 1.0%増、輸入 2.4%減</p> <p><b>投資</b>: 8月: <u>設備稼働率 75.3%</u></p> | <p><b>GDP</b> 7-9 月 前期比年率 2.9% 輸出 10%増、設備投資 1.2%増、個人消費 2.1%増、耐久財 9.5%増</p> <p><b>景気</b>: 20日 FRB 大半の地域で緩やかな拡大、9月: 製造業景況感 51.5、2 ポ上昇</p> <p><b>財政・金融</b>: <u>財政赤字16年度61兆円 34%増</u>、医療保険</p> <p><b>株価</b>: 3日 18,253、10日 18,329、<u>31日 18,142</u></p> <p><b>雇用</b>: 9月: <u>失業率 5.0%前月比 0.1ポ3ヶ月ぶり悪化</u></p> <p><b>所得</b>: 9月: 平均時給 2.6%増</p> <p><b>消費</b>: 9月: 小売売上高 2.7%増、前月比 0.6%増、<u>新車販売 0.5%減</u>、143万台 <u>2カ月連続一</u>、新築販売 29.8%増、新築戸建 3.1%増、<u>住宅着工前月比 9%減</u>、</p> <p><b>生産</b>: 9月: <u>鉱工業 1%減</u></p> <p><b>貿易</b>: 9月: 輸出 0.7%増、輸入 2.1%減</p> <p><b>収益</b>: 7-9 月: 純益 <u>フォード 56%減(リコール)</u> 1千億ドル、<u>GE20%減</u> 2066 億ドル <u>ストラテジック</u>、<u>IBM3%減</u> 3 千億円、<u>インテル 9%増</u> 3500 億円、<u>アップル 19%減</u> 90億ドル、<u>マイクロソフト 4%減</u> 4870 億円、<u>アルファベット 27%増</u> 50.6 億ドル、<u>アマゾン3倍</u> 2.5 億ドル</p> <p><b>投資</b>: 9月: <u>設備稼働率 75.4%</u></p> | <p><b>景気</b>: 10月: 製造業景況感 0.4 ポ上昇</p> <p><b>財政・金融</b>: 2日 FOMC 金融政策現状維持、利上げ見送り</p> <p><b>株価</b>: <u>1日 18,037</u>、<u>4日 17,888</u>、<u>15日 18,923</u> 最高値</p> <p><b>雇用</b>: 10月: 失業率 4.9%前月比 0.1 ポ改善、16.1万人、<u>GM2千人削減</u>、</p> <p><b>所得</b>: 10月: 平均時給 2.8%増</p> <p><b>消費</b>: 10月: 小売売上 4.3%増前月比 0.8%増、<u>新車販売 5.8%減</u>、137 万台営業日 2日減 <u>3カ月一</u></p> <p><b>生産</b>: 10月: <u>鉱工業 0.9%減</u>、前月比横這</p> <p><b>収益</b>: 7-9 月: 純益: GM2倍 27.7 億ドル</p> <p><b>投資</b>: 10月: <u>設備稼働率 75.3%</u></p> | <p>(前々月)・GDP は 4-6 月前期比年率 1.4%増で 14 四半期連続十。9月失業率 5.0%0.1 ポ悪化。住宅販売高水準も車販売2カ月連続一、所得改善傾向で個人消費は堅調。輸出はマイナスからやや増へ、設備投資低下へ、生産は2カ月連続一。景気はやや弱含み。企業収益 4-6 月 2.6%減で4期連続一、IT、自動車は斑模様。株価は最高益からやや低下。成長持続、雇用拡大が課題。今後の金利引上げの可否・影響が懸念材料。</p> <p>(前・今月)・GDP は 7-9 月前期比年率 2.9%増で 15 四半期連続十。10月失業率 4.9%、<u>0.1ポ改善</u>。住宅販売高水準も車販売3カ月連続一、所得改善傾向で小売売上は堅調。輸出は2カ月連続十、設備投資やや回復、生産は3カ月連続二。景気は横這い。企業収益 7-9 月 IT・半導体・ソフト関係好調、産業システムは構造改革でマイナス。株価はトランプ相場で最高値。成長持続、雇用拡大が課題。今後の金利引上げの可否・影響が懸念材料。</p>                               |
| 欧州  | <p><b>株価</b>: FT: 2日 6,894、<u>13日 6,665</u>、29日 6,919</p> <p><b>雇用</b>: 8月: 失業率: ユーロ 10.0%、横這、独 4.1%、仏 10.5%、伊 11.5%、スペイン 19.4%、蘭 5.8%、ポーラ 5.9%</p> <p><b>消費</b>: 8月: 小売売上高: ユーロ 1.2%増、独 1.0%増、仏 1.2%増、英 6.6%増、<u>伊 0.4%減</u>、スペイン 3.3%増、<u>蘭 0.1%減</u>、ポーラ 10.8%増、<u>新車登録</u>: 欧州 8.5%増、独 8.3%増、仏 6.7%増、英 3.3%増、伊 20.1%増、スペイン 14.6%増、<u>蘭 12.1%減</u>、ポーラ 24.3%増</p> <p><b>生産</b>: 8月: 鉱工業: ユーロ 2.2%増、独 2.5%増、仏 0.3%増、英 2.3%増、伊 4.4%増、スペイン 4.4%増、蘭 4.3%増、ポーラ 5.2%増</p> <p><b>貿易</b>: 8月: ユーロ輸出 8%増、輸入 4%増、</p> | <p><b>GDP</b> 7-9 月: ユーロ圏前期比年率 1.4%、14四半期十、量的緩和、ドイツ個人消費、英 前期比 0.5%増</p> <p><b>財政・金融等</b>: 英首相、来年3月末までに EU 離脱通告</p> <p><b>株価</b>: FT: <u>3日 6,983</u>、10日 7,097、<u>31日 6,954</u></p> <p><b>雇用</b>: 5日 <u>エリクソン3千人削減</u>、13日 <u>VW 2.5 万人早期退職</u>、9月: 失業率: ユーロ 10.0%、横這、独 4.1%、仏 10.2%、伊 11.7%、スペイン 19.3%、蘭 5.7%、ポーラ 5.7%、</p> <p><b>消費</b>: 9月: 小売売上高: ユーロ 1.1%増、<u>独 0.4%減</u>、仏 1.8%増、英 4.3%増、スペイン 3.3%増、ポーラ 8.6%増、<u>新車登録</u>: 欧州 6.4%増、独 9.4%増、仏 2.5%増、英 1.6%増、伊 17.4%増、スペイン 13.9%増、<u>蘭 4.2%減</u>、ポーラ 19.8%増</p> <p><b>生産</b>: 9月: 鉱工業: ユーロ 1.2%増、独 1.2%増、<u>仏 1.0%減</u>、英 0.3%増、伊 1.8%増、スペイン 0.3%増、蘭 5.2%増、ポーラ 3.2%増</p> <p><b>貿易</b>: 9 月: ユーロ輸出 2%増、<u>輸入 2%減</u>、</p> <p><b>収益</b>: 7-9 月: 純益: BMW15%増、最終益: VW2,600 億円、フィアット・ク 690 億円、9月期: 純益: シーメンス 30%増 6,420 億円</p>   | <p><b>財政・金融等</b>: 3日 英高等法院 EU 離脱に議会承認必要、英政策金利 0.25%据置</p> <p><b>株価</b>: FT: <u>4日 6,693</u>、9日 6,911、<u>15日 6,792</u></p> <p><b>消費</b>: 10月: 新車登録: <u>独 5.6%減</u> 営業日 2日少、<u>仏 4.0%減</u>、英 1.4%増、伊 9.7%増、スペイン 4.0%増、<u>蘭 7.2%減</u>、ポーラ 8.4%増</p>   | <p>(前々月)・GDP4-6 月ユーロ圏 1.2%成長、13 四半期十。失業率は8月 10.1%で高水準横這。車販売9月迄 38 カ月堅調に推移。消費は独、伊、スペイン、ポーラ、仏、英、中心に堅調、8月輸出十へ、投資やや増、生産は8月プラスへ。景気は全般的に堅調。企業業績 4-6 月 3四半期ぶり一、自動車、電機は斑模様。株価は 7000 台回復、高水準の失業率の低下、景気回復持続が課題。英 EU 離脱の影響、難民問題、ウクライナ問題、南欧債務、景気下振れリクが懸念材料</p> <p>(前・今月)・GDP7-9 月ユーロ圏 1.6%成長、14 四半期十。失業率は9月 10.0%で高水準横這。車販売9月迄 38 カ月堅調に推移。消費は英、伊、スペイン、ポーラ、仏、中心に堅調、輸出2カ月連続十へ、投資やや増、生産は9月プラス2か月十。景気は低水準も堅調。企業業績 7-9 月、自動車回復、産業システム好調。株価は 7000 から低下。高水準の失業率低下、景気回復持続が課題。英 EU 離脱決定、難民問題、ウクライナ問題、南欧債務、景気下振れが懸念材料</p> |
| 中東ア | <p><b>トルコ</b>: 22日 政策金利 0.25%下げ 8.25%へ、8 月: <u>新車販売 13.5%減</u> 7.3 万台、</p> <p><b>南ア</b>: 8月: <u>新車販売 9.5%減</u> 4.6 万台、</p> <p><b>ケニア</b>: 4-6 月 <b>GDP</b> 6.2%</p>  | <p><b>トルコ</b>: 9月: 新車販売 3.7%増 6.9 万台、</p> <p><b>南ア</b>: 9月: <u>新車販売 14.3%減</u> 4.7 万台、</p>   | <p><b>トルコ</b>: 10月: 新車販売 28.2%増 8.5 万台、</p> <p><b>南ア</b>: 10月: <u>新車販売 10.1%減</u> 4.9 万台、</p>  | <p>・シリア、イラク、リビア、イエメン、ナイジェリア、南スーダン等で政情不安定。イラン、エジプト安定化。サウジアラビア財政悪化、UAE、クウェート、オマーンも。トルコ非常事態も3%台成長。南ア、物価高、金利引上げ、車販売減速等も3%台成長へ。サブサハラ1%台成長。政治の安定化、資源価格の安定が課題</p>  |
| 中南米 | <p><b>ブラジル</b>: 8月: <u>新車販売 11.3%減</u> 18.4 万台、</p> <p><b>メキシコ</b>: 29 日: 政策金利 0.5%引上げ 4.75%へ、8 月: 新車販売 19.6%増 13.4 万台、</p>  | <p><b>ブラジル</b>: 20日 中銀 0.25%利下げ年 14%へ、9月: <u>新車販売 20.1%減</u> 16 万台、</p> <p><b>メキシコ</b>: 9月: 新車販売 18.1%増 13.1 万台、7-9 月 <b>GDP</b> 2.0%増</p>   | <p><b>ブラジル</b>: 10月: <u>新車販売 17.2%減</u> 15.9 万台、</p> <p><b>メキシコ</b>: 10月: 新車販売 14.6%増 13.7 万台、</p>   | <p>・ブラジル経済は物価上昇、通貨安、金融引締め、消費、生産、投資の低迷で GDP4-6 月 9 期連続一。ペネシアは経済緊急事態中。メキシコ経済、車販売好調で 7-9 月は 2%成長。</p>  |
| 露東欧 | <p><b>ロシア</b>: 16日: 政策金利 0.5%下げ 10.0%へ、8 月: <u>新車販売: 18.0%減</u> 11.4 万台、</p>   | <p><b>ロシア</b>: 9月: <u>新車販売: 10.9%減</u> 12.6 万台、7-9 月 <b>GDP</b> 0.4%減</p>  | <p><b>ロシア</b>: 10月: <u>新車販売: 2.6%減</u> 12.7 万台、</p>  | <p>・ロシアは対口制裁、原油安等輸出減、賃金減少、通貨安、消費、投資、生産低迷、GDP7-9 月 0.4%減と経済長期低迷続く対口経済制裁、原油安の影響懸念材料、経済回復が課題</p>   |